

JR 常磐線「龍ヶ崎市駅」誕生に関する JR への負担額が確定しました

問 企画課 内線 364

JR「龍ヶ崎市駅」への改称事業に関して、このたび精算作業が完了し、JR 東日本水戸支社から龍ヶ崎市に対して報告がありましたので、公表します。



減額要因

駅名改称事業が、当初から予定されていた「高輪ゲートウェイ駅」の開業に加え、常磐線のダイヤ改正と同じタイミングで実施できたことや、常磐線の全線運転再開などの JR 施策と同時に作業を進められたことによる「割り勘効果」が働き駅名改称事業に対する工事費が減少したことから、市の負担額が大きく減額となりました。

財源は全て「みらい育成基金」を活用

事業の財源は、全額ふるさと納税などを原資とする「龍ヶ崎市みらい育成基金」を充当します。なお、ふるさと納税のうち、歳出用途を「常磐線佐貫駅名改称事業に関すること」と指定された全て、および「市長へお任せ」と指定されたうちの一部を充てることとなります。

市長からのメッセージ

令和 2 年 3 月 14 日に誕生した JR 龍ヶ崎市駅。龍ヶ崎市民みんなが自分たちの駅として愛着を持ちながら、この取り組みから価値を生み出し、さらに大きく育てていけるよう、市民の皆さんとともに力を合わせてまいります。大きなお力をいただいた全ての皆さんに、心から感謝申し上げます。



JR「龍ヶ崎市駅」誕生に係る財源の内訳

全額龍ヶ崎市みらい育成基金活用 2 億 2,469 万 1,096 円		
駅名改称事業に関すること		市長にお任せ
ふるさと納税から 6,446 万 6,000 円	龍ヶ崎未来委員会からの寄付 1,266 万 9,031 円	ふるさと納税から 1 億 4,755 万 6,065 円

ネーミングライツの契約を締結しました

6 月 23 日、市で初めての導入となるネーミングライツ事業の契約締結式が、流通経済大学（野尻俊明学長）、大昭建設株式会社（細谷武史代表取締役社長）、龍ヶ崎市の 3 者で行われ、契約書を取り交わしました。

7 月 1 日から、龍ヶ崎市陸上競技場（たつのこフィールド）が「流通経済大学龍ヶ崎フィールド」、文化会館が「大昭ホール龍ヶ崎」の愛称を使用します。

定着に向けてイベントや大会などの開催場所として愛称を使用するとともに、引き続き施設の魅力向上に取り組みます。

【関連記事: 10 ページ「たつのこフィールドと文化会館の愛称が決まりました！」】



左から大昭建設株式会社・細谷代表取締役社長、中山市長、流通経済大学・野尻学長